

愛知県立大学・愛知県立芸術大学研究交流展示

よみがえる屏風・絵巻の世界



愛知県立芸術大学
サテライトギャラリー
S A ・ K U R A

2026年5月30日(土)~6月21日(日) **入場無料**

展示時間 12:00~19:00 ※月曜・火曜休廊

主催:愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学
企画:愛知県立大学・愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所

関連
企画

シンポジウム「よみがえる屏風・絵巻の世界 —主題・表現・技法の継承—」

2026年6月14日(日) 13:30~16:00 場所:ウインクあいち15階〈定員50名〉

よみがえる屏風・絵巻の世界

本展覧会は、愛知県立大学と愛知県立芸術大学の研究交流展として、両大学で協働した今治市河野美術館蔵「平家物語下絵小図絵巻」の復元絵巻と、愛知県立芸術大学で制作された復元本「石山寺縁起絵巻画中国画浜松図屏風」と復元本「月次祭礼図屏風」を、同時に公開するものとなります。これらの復元模写による絵巻や屏風の制作は、それぞれ下絵や模本、画中国画などにより、絵から絵へと継承された文化の痕跡をよみがえらせる試みです。

「平家物語下絵小図絵巻」は、松平定信が制作を指示した絵巻の下絵で、江戸時代に武家社会で「平家物語」がどのように享受されたのか知る手掛かりになるものですが、残念ながら下絵しか遺されていません。復元では下絵にある指示書きや描写を読み解き、定信が志向した画風の再現を試みました。また「平家物語下絵小図絵巻」は、古画の模倣として室町時代の「石山寺縁起絵巻」の作風に通じることが判ってきましたが、この「石山寺縁起絵巻」に描かれた画中国画のやまと絵屏風を再現したものが、復元本「石山寺縁起絵巻画中国画浜松図屏風」です。画中国画として絵巻の中に現れながらも、現代には伝わらない雲母地屏風の技法復元を試みたものになります。そして復元本「月次祭礼図屏風」の原本は、室町幕府が主導した祭礼を、江戸時代に模本として記録したものであるといえるでしょう。

物語、下絵、画中国画、模本など、実物が遺されなかったさまざまな文化継承の記憶を可視化する試みとして、よみがえったやまと絵屏風や絵巻の世界と、その制作に関わる資料を展示します。



復元本「平家物語下絵小図絵巻」(橋合戦)



復元本「石山寺縁起絵巻画中国画浜松図屏風」



復元本「月次祭礼図屏風」

シンポジウム「よみがえる屏風・絵巻の世界 — 主題・表現・技法の継承 —

日時 2026年6月14日(日) 13:30~16:00

会場 ウィンクあいち 15階

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

(アクセス)

○JR名古屋駅桜通口から:ミッドランドスクエア方面に徒歩5分

○ユニモール地下街5番出口から:徒歩2分

定員 50名(当日受付)

プログラム

- ・「松平定信、平家物語絵巻をつくる—下絵がうつしだす物語世界—」 鈴木 彰(立教大学教授)
- ・「『平家物語下絵小図』と中世絵巻—松平定信が求めた絵巻の理想形を探る—」 龍澤 彩(金城学院大学教授)
- ・「下絵・画中国画・模本の復元と古画の技法」 阪野 智啓(愛知県立芸術大学准教授)
- ・「写し継ぐ屏風と絵巻—やまと絵1000年の潮流—」 高岸 輝(東京大学教授)
- ・座談会モデレーター:中根 千絵(愛知県立大学教授)

愛知県立芸術大学 サテライトギャラリー S A ・ K U R A

名古屋市東区東桜1-9-19

成田栄ビル地下1階

TEL/FAX 052-212-9316

◆地下鉄東山線 栄駅より徒歩6分

お問合せ 愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課

0561-76-2873 (受付時間 平日9:00~17:30)

〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-114

geijo@mail.aichi-fam-u.ac.jp



愛知県立芸術大学 サテライトギャラリー S A ・ K U R A

(地下1階 エレベーターをご利用ください)



- NHK名古屋放送センタービル
- 愛知芸術文化センター

※本研究はJSPS科研費基盤研究(B)[十七世紀尾張藩を中心とした文化としての武>に関する諸藩対照研究](23K21911 代表:中根千絵)、
基盤研究(B)[中世やまと絵屏風の技法復元を中心とする総合的研究](23K21900 代表:阪野智啓)の助成を受けたものです。